

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2004年放送分](#) > 8月14日放送分 [たくさんの情報を生かして～愛媛 福祉機器メーカーの取り組み～](#)

8月14日放送分 [たくさんの情報を生かして～愛媛 福祉機器メーカーの取り組み～](#)

14日放送 (TX・TVO・TSC)

15日放送 (TVH・OX・TVA・TVO・OTV)

16日放送 (BSJ)

21日放送 (RCC)

【企業レポート】愛媛県の株式会社いうら(資本金7,000万円、従業員数116名)は、「お年寄りを寝たきりにさせない」をテーマに、福祉機器を製造する会社。多数の特許と情熱に裏付けられた商品は多くの利用者に愛されている。介護をする人とされる人、双方の幸せを願って、より良い福祉機器の開発に取り組んでいる同社の経営姿勢を紹介する。

ビジネス・ホット情報 情報満載“J-NET21”

問い合わせ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 広報室 広報課 Tel 03-5470-1519

たくさんの情報を生かして

～愛媛 福祉機器メーカーの取り組み～

[視聴覚教材No. TV16-20](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



今日お訪ねする愛媛県の(株)いうらは福祉機器のメーカー。どんな機械を作っているのか。さっそく行ってみる。

こちらが井浦常務。



主要製品のストレッチャー。引くだけでなく、押し出すことができるのが他社にはない特徴。全国シェアの80%を占める。日本だけでなくヨーロッパやアメリカでも特許を取得した。

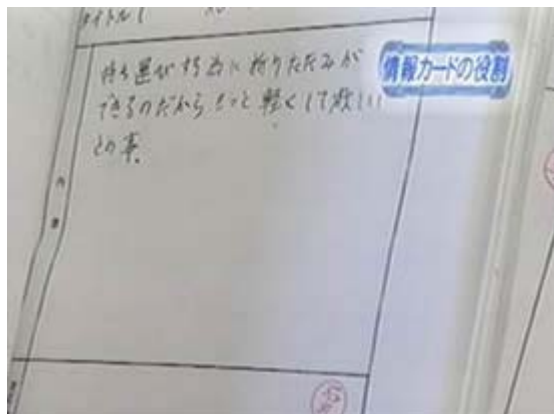
創業者である現会長の父親が寝たきりとなり、寝返りさせるベッドを開発したことが福祉機器メーカーとしてのスタートだった。



ここは製品を使用している老人福祉施設。ベッドからひとりで乗り移ることができるこの車イスの使用者は「とても楽です。」と話してくれた。

「家庭での介護を考え、機械を小さくする。今の介護保険の制度に役立ち、合致する物を作る。これまでと違った考え方で機械の構成を考える。そこに大きな市場がある。」と話す井浦常務。

POINT: 全く違った発想・考え方が新しい市場をつくる



利用者からの意見を情報カードに記入し、会社を集める。製品の改良希望は5件溜まると必ず会議で取り上げ、対応を検討する。

POINT: 出た意見をそのまま情報カードに記入し、会社を集める



各製品にひとりの担当者がつき、情報を集中させて開発を進める。「最初からグループだと責任が薄くなる。任された部分はやり続け、そこに知恵を集める。」と井浦常務はその理由を話す。



営業部門で行われる「得意機種講習会」。機種ごとに売上トップの営業マンが、販売に役立つノウハウを発表。情報の共有化を図る。

伊予病院の首藤院長は「人間と機械が融合する、あたたかみのある物が欲しい。」と福祉機器に対する期待を語る。



「家庭になじみ、溶け込む福祉機器を作っていきたい。」と井浦常務は最後に意気込みを語った。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN